

今年度の取組の栗東市空家等対策計画における位置づけ

ステージ	具体的な対策	短期 H30~R1	中期 R2~R6	長期 R7~
ステージ 1 空家化の予防 ・実態把握	1. 空家等現況調査の実施 報告資料 2 ・自治会など地域と連携した定期的な現況調査の実施 ・連携体制の整備、情報共有	調査 (R1)	調査 (R4)	調査 (R7)
	2. 地域と連携した空家等予備軍の把握 ・自治会や社会福祉協議会などの地域と連携した情報共有	→ 仕組みの検討・実施		
	3. 市民等に対する意識啓発、情報提供 ・市民活動や高齢者が集まる場等での意識啓発、相談対応 ・市民と関わる機会を利用した空家化の予防啓発	リーフレット作成・配布	→ 仕組みの検討・実施	→ 仕組みの検討・実施
	4. 空家等に関する相談体制の整備 ・相談窓口などの相談体制の構築	相談体制の整備	→ 相談対応の実践	
	5. 文化財や景観重要建造物の空家化の予防 ・文化財や景観重要建造物の空家化の予防に向けた対策	→ 仕組みの検討・実施		
	6. 住み慣れた地域に住み続けられる環境の整備 ・交通、買い物など生活支援サービス体制の整備	→ 仕組みの検討・実施		
ステージ 2 空家等の 適正管理	1. 空家等に関する情報のデータベース化 ・地域や関係課等と連携した空家等に関する情報共有と管理体制の整備	情報共有の仕組みづくり データベース化	データベースによる情報共有	
	2. 空家等の適正管理に向けた仕組みづくり ・空家等所有者への適正管理の啓発 ・地域や市民活動団体等による空家等の適正管理の取組のサポート	定期的な情報発信・呼びかけ、 → 仕組みの検討・実施	条例による規定や活動のサポートなど、 → 仕組みの検討・実施	
ステージ 3 空家等の 利活用	1. 空家等の利活用に対する所有者等意向、利用希望者等のニーズの把握 ・空家等利活用の相談等を通じた所有者等意向等の把握 報告資料 3	→ 現況調査と連携した所有者等意向の把握 → 仕組みづくりの検討		
	2. 空家等の利活用に向けた支援制度、体制等の整備 ・空家バンクの設置に向けた運営体制の構築と運用 報告資料 4 ・空家等の利活用をサポートする組織体制の整備 報告資料 6 ・移住・定住等に向けた助成制度の創設	空家バンク設置	空家バンクの運用、登録の呼びかけ	→ 組織体制の整備、マッチング支援
	3. 地域の実情に応じた空家等の利活用を促進する仕組みづくり ・法制度等を活用した空家等の利活用の促進	→ 助成制度創設 助成制度の運用・充実		
	4. 市民の暮らしやすさの向上や地域コミュニティの活性化に寄与する空家等の利活用の促進 報告資料 5 ・空家等利活用のモデル事業の実践	モデル事業の検討	→ 空家等を活用した地域との連携等	
ステージ 4 管理不全空家等の解消	1. 特定空家等の認定、措置の明確化 ・特定空家等の認定基準、措置の明確化 ・管理不全空家等に対する軽微な行為等の明確化	認定基準等の明確化	特定空家等の認定、措置の実施	→ 軽微な措置、緊急安全措置の明確化、措置の実施
	2. 特定空家等に対する措置の実施体制の確立 ・庁内関係課・関係団体等との連携体制の整備 ・特定空家等に関する研修会等の実施	連携体制の整備	連携体制に基づく特定空家等に対する措置の実施	→ 研修会等の実施
	3. 管理不全空家等の除却や跡地活用 報告資料 6 ・空家等の除却費助成制度等の検討 ・跡地の有効活用	制度創設	制度を活用した空家等所有者等による管理不全空家等の除却	→ 仕組みの検討・実施